

## 社会変革推進財団（SIIF） 2020年度事業計画

2020/03/24

当財団は、日本が少子化・高齢化などにより、医療・介護システムの疲弊、子供の貧困、地方の経済衰退とコミュニティの消失等の構造的課題に直面する中、「社会課題解決と多様な価値創造が自律的・持続的に起こる社会」を目指し、「自助・公助・共助の枠組みを超えて、社会的・経済的資源循環のエコシステムをつくる」のミッション達成に向けて、以下の5つの戦略テーマに基づき、活動を行っていく。

### 戦略テーマ：

1. インパクト投資
2. 成果連動型民間委託（PFS） / ソーシャルインパクトボンド（SIB）
3. 進化するフィランソロピー
4. 次世代型資源循環の仕組み作り（オルタナティブ）
5. 社会的インパクト評価・マネジメント

### ミッション達成に向けた事業ステージ：

それぞれの戦略テーマにおいて、新しい資源循環モデルの仮説を出し（研究開発ステージ）、目的を共有する組織と共に新たなモデル事業を創り（新規事業開発ステージ）、そのうち成功事例をより多くの協働者と横展開し、将来の担い手となる人材や組織を支援することで質の高い参加者を増やし（モデル普及ステージ）、さらに調査研究や政策提言によりモデル事業が拡大および発展するための環境整備を行うことで、エコシステム（ある領域に存在する人や組織が、お互いに依存しながら社会的・経済的資源循環を維持する関係）の形成につなげる。

## 1. インパクト投資

インパクト投資とは、社会面・環境面での課題解決を図ると共に、経済的な利益を追求する投資行動を指す。当財団は、日本におけるインパクト投資の黎明期からエコシステム構築の中心的な役割を担ってきた立場として、重要ステークホルダーと共に、インパクト投資の成功事例を創出し、インパクト投資に取り組む人材や組織の育成を行い、調査研究や政策提言を通じてインパクト投資推進に必要な環境整備を進める。世界的に進んでいるインパクト投資の共通原則や手法の開発プロセスに積極的に参画していく。

### 事業内容

- 1) 出資先ヘルスケア・ニューフロンティア・ファンド
  - ・社会的インパクトマネジメント実施支援
  - ・同ファンドのインパクトレポート作成・発行支援
- 2) 出資先日本インパクト投資2号ファンド  
(通称：はたらくファンド)
  - ・新生企業投資株式会社の子会社である新生インパクト投資株式会社と共同運営
  - ・機関投資家からの資金調達
  - ・同ファンドの新規出資先獲得
  - ・Impact Management Project等のグローバルなフレームワークを活用した社会的インパクトマネジメントの実施
  - ・インパクトレポートの発行
  - ・出資先に対するソーシャルIPO準備支援
- 3) 出資先シングルマザー起業家による株式会社（株式会社デジサーチアンドアドバタイジングと共同出資）
  - ・起業家3名への支援
  - ・社会的インパクトマネジメントの実施
- 4) 休眠預金活用事業「地域活性化ソーシャルビジネス成長支援事業」
  - ・支援先の公募・選定・支援実施
  - ・社会的インパクトマネジメントの実施
- 5) 出資先プラス・ソーシャル・インベストメント株式会社（地域におけるインパクト投資の専門組織）
  - ・経営支援の継続
  - ・社会的インパクトマネジメント実施支援の継続
- 6) GSG（The Global Steering Group for Impact Investment）国内諮問委員会
  - ・国内諮問委員会の開催・運営の継続
  - ・インパクト投資に関する知見・経験の整理、調査研究の継続（日本におけるインパクト投資の現状レポート2020作成、社会性評価実証事業等）

- ・ インパクト投資に関する情報発信の継続（上記現状レポートの発行、インパクト投資フォーラム 2020 の実施）
- ・ インパクト投資を推進するための政策提言（提言書の発行、社会性認証制度の制度化検討、金融庁との勉強会の実施など）

## 2. 成果連動型民間委託（PFS） / ソーシャルインパクトボンド（SIB）

成果連動型民間委託（PFS）とは、行政から民間事業者に事業を委託する際、その成果に応じて支払いを行う契約方式を指す。また、ソーシャルインパクトボンド（SIB）は、PFS の際に、受託者が投資家から資金調達を行い、行政からの最終支払をもって投資家への資金返済に当てる資金調達手法を指す。当財団は、日本初の SIB 案件を成立させ、日本の SIB の約半数を組成・出資してきた経験に基づき、今後も PFS/SIB 推進のためのモデル案件の創出、中間支援組織の支援、制度化に向けた支援等を通じて、日本において真に社会課題解決に資する PFS/SIB 市場の構築に貢献していく。

### 事業内容

- 1) PFS/SIB 案件組成・出資
  - ・ 新規案件の組成、出資、支援
  - ・ 出資済案件のモニタリング
  - ・ 出資終了案件の最終成果確認と学びの整理
- 2) PFS/SIB の案件作りを担う中間支援組織支援
  - ・ 中間支援組織支援の戦略の更新
- 3) 中央政府への政策提言・制度設計支援
  - ・ 法務省と協働の再犯防止 SIB のパイロット事業の計画策定、案件組成の支援
  - ・ 内閣府と協働した PFS/SIB 支援施策の検討（アウトカムファンドの設立など）
  - ・ 未来投資戦略会議、国交省、厚労省などその他政府・官公庁への政策提言・制度設計の支援
- 4) PFS/SIB に関する調査研究、情報発信

## 3. 進化するフィランソロピー

進化するフィランソロピーとは、従来のフィランソロピーにおける経験と実績をもとに、社会的インパクト創出の規模と深さ、持続性を向上させるための実験的な取組みを指す。当財団は、金融機関や政府と共にインパクト投資や PFS/SIB を推進し、持続可能な社会課題解決型事業を促進してきた実績に基づき、フィランソロピーを担う次の世代が果たす役割を研究し、モデル事業を開発する。

### 事業内容

#### 1) 日本財団との協働事業

・海洋分野におけるインパクト投資・助成の中期計画策定、各種支援、助成・出資等の実施

・社会起業家支援への各種支援、助成・出資等の実施

#### 2) 日本ベンチャー・フィランソロピー・ファンド (JVPF) の運営協力

・共同運営

・支援先のモニタリング実施協力

・新規支援先の選定協力

#### 3) 個人富裕層向けフィランソロピー

・海外・日本における個人富裕層向けフィランソロピー・サービスの現状調査およびレポート作成

・フィランソロピー・ラウンドテーブルの開催 (JFRA、AVPN との協働開催)

### 4. 次世代型資源循環の仕組み作り (オルタナティブ)

次世代型資源循環の仕組み作り (オルタナティブ) とは、従来型の経済資本では価値化されにくい社会資本、自然資本、文化資本、人的資本、感情資本等を価値化する事業モデルや仕組み作りを指す。当財団は、日本でインパクト投資を推進してきた経験を踏まえ、様々な発想やアイデアを持つパートナー組織と共に、新たな資源循環モデルについて仮説を開発・検証し、モデル事業を試行する仕組み作りを行う。

#### 事業内容

##### 1) ハルキゲニア・ラボ (地域の新たな資源循環を創出する人材・組織支援)

・助成先各社によるプロトタイプ開発を支援するアクセラレータープログラムの実施

・助成先各社事業が創出し得るインパクトの可視化と情報発信

・地域の新たな資源循環モデルの仮説検証、本ラボの設計更新

##### 2) 出資先アドレス (株)

・社会的インパクトマネジメントの実施支援

・ハルキゲニア・ラボとの連携

・経営モニタリング (資金調達支援など)

### 5. 社会的インパクト評価・インパクトマネジメント

社会的インパクト評価とは、事業や活動によって生まれるインパクトを定量的・定性的に把握することを指す。社会的インパクトマネジメントとは、社会的インパクト評価の結果を生かして、インパクトを高める活動を継続していくことを指す。当財団は、インパクト投資を始めとする各テーマにおいて必要な社会的インパクト評価・インパクトマネジメントの実践、ナレッジ開発、ノウハウの普及等に取り組む。

## 事業内容

### 1) SIMI (社会的インパクト・マネジメント・イニシアチブ)

- ・事務局運営 (新規分野におけるアウトカム・指標の開発、評価支援体制の更新、事例蓄積の推進、資金提供者ワーキンググループの運営、その他各種啓蒙・情報発信活動の実施) 支援

### 2) その他社会的インパクトマネジメント

- ・普及促進のための知見・経験の整理
- ・調査研究、情報発信、政策提言

## 6. その他 (テーマ横断型プロジェクト)

上記以外で、各プロジェクトに対し、あるいは、組織全体に対し、専門的見地から事業支援を行う。

## 事業内容

### 1) 調査研究

- ・各プロジェクトにおいて必要な調査研究の実施
- ・テーマ横断型調査研究の実施

### 2) 広報

- ・各プロジェクトにおける広報 (ステークホルダー・コミュニケーション) : プレスリリース、関係者向け勉強会、各種レポート作成、イベント実施、プロジェクト PR
- ・当財団全体の広報 (ブランディング) : ホームページ、アニュアルレポート作成、ブログ発信、外部セミナーでの登壇支援